

# 6月オレンジ第2園だより

令和3年6月1日発行

梅雨の蒸し暑さの中、コロナ感染症は止まることなく「緊急事態宣言」が発令されました。かろうじて、親子遠足「ウォークラリー」は皆様のご協力のおかげで実施することが出来、お子さんのご家族とお会いしながら保育園の職員を紹介し、楽しいひとときを過ごすことが出来たと思います。

それから、個人面談の日程も調整して頂きましたが、緊急事態宣言の中で「三密」を避ける環境の気配りが行き届かないことで、ご迷惑をかける事があってはならないと判断し延期する事に致しました。もし、気になる事があれば早めに個人面談を行いたいと希望する方は日程を調整しますのでお申し出下さい。

- これまでの保護者の皆様からの相談で一番多い心配事は以下の通りです。
- 1, お昼寝をすると、夜、寝るのが遅くなり困る。
  - 2, 家では食べない食材を園では食べるのですか
  - 3, 食事がなかなか進まず時間がかかる
  - 4, お友達と仲良く遊んでいるか・・・

睡眠については乳幼児3歳までは「お昼寝は大切です」——そして夜は9時から10時までに寝て朝は6時から7時に起きる体内時計を身につける必要があります。このリズムが「子どもの脳の発達」身体の発達に欠かせないリズムだそうです。ネットなどでも調べてみましょう！  
 食事に関しては、そんなに神経質にならずに栄養より「楽しい食生活」を心がけましょう。お腹が空いたら人はしっかり食べる習性があります。長い目で焦らず見守りましょう！

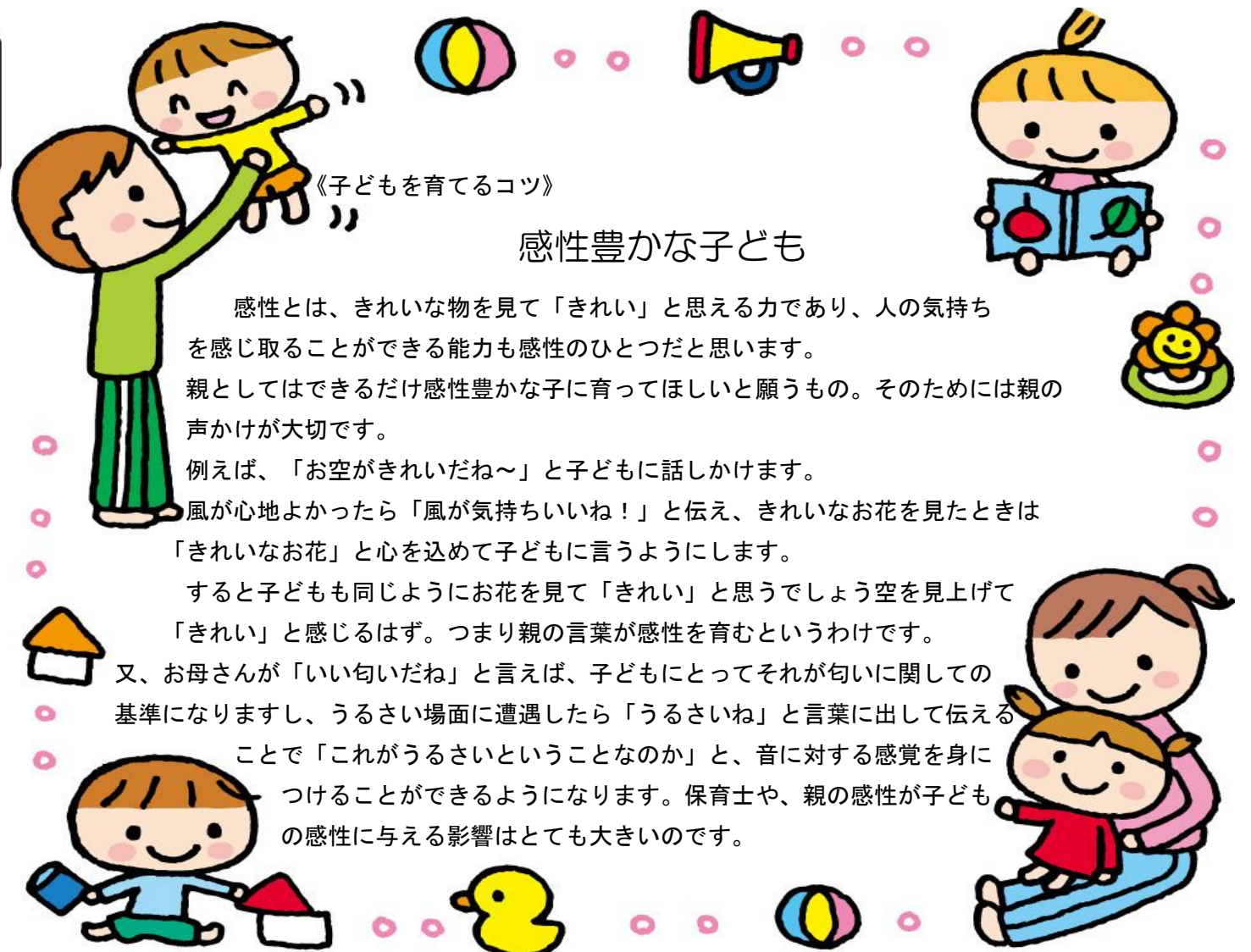


保育園での生活の流れ、9時15分にクラスでのお集まりが始まります。お返事は元気に「はい」お友達いるかな？ あさの歌・お遊戯・手遊び・それから自分の好きな遊びへ〇先生はここで△するよ・数名の先生が遊びを用意して待ちます。散歩を用意した先生もいます。10時40分～お腹空いた子から給食を始めます。手を洗いテーブルに付きます。一人から二人と次々にお友達が増えます。  
 早く給食をすませたら トイレを済ませ遊びを見つけ遊び、早く眠たい子はゴロンして寝る。  
 また、眠たくない子は少し先生と遊んだりしながら、背中トントンで寝ます。その流れが4月5月で身に付きました。「自分の意思で考えて動く」どうしたらいいか考える・・・小さな子どもでも自分で決めたことは納得して動けます。  
 その子に合った生活のリズムで、子どもが自から選んで決められる遊びや生活の仕方を大切にしています。

6月の保育園の行事予定

6月 2日(水) 歯科検診(嘱託医 にじいろ歯科)  
 3日(木) 内科検診(いらはクリニック)  
 7日(月) 8日(火) 尿・ギョウ虫検査 回収日  
 生活の日 (持ちもの点検)  
 14日(月)～大型壁面や色遊び週間  
**18日(金) お弁当会**  
 19日(第三土曜日) 午後職員研修・家庭保育協力  
 21日(発育測定・ベビーマッサージ)  
 22日(火) 豊見城警察署による交通安全指導  
**23日(水) 沖縄県慰霊の日・・・休園**

7月5日～7月9日までの間は、夏祭り週間です。七夕様の折り紙飾り、盆踊り、縁日を予定しています。保護者参観を午前中の30分程度、日時を決めて参加して頂きたいと考えています。



## 《子どもを育てるコツ》 感性豊かな子ども

感性とは、きれいな物を見て「きれい」と思える力であり、人の気持ちを感じ取ることができる能力も感性のひとつだと思います。親としてはできるだけ感性豊かな子に育ててほしいと願うもの。そのためには親の声かけが大切です。  
 例えば、「お空がきれいだね～」と子どもに話しかけます。風が心地よかったら「風が気持ちいいね！」と伝え、きれいなお花を見たときは「きれいなお花」と心を込めて子どもに言うようにします。すると子どもも同じようにお花を見て「きれい」と思うでしょう空を見上げて「きれい」と感じるはず。つまり親の言葉が感性を育むというわけです。  
 又、お母さんが「いい匂いだね」と言えば、子どもにとってそれが匂いに関する基準になりますし、うるさい場面に遭遇したら「うるさいね」と言葉に出して伝えることで「これがうるさいということなのか」と、音に対する感覚を身につけることができるようになります。保育士や、親の感性が子どもの感性に与える影響はとても大きいのです。

**嘱託医を紹介します**

内科:いらはクリニック  
 伊良波 隆先生  
 白石 牧子先生

歯科:にじいろ歯科クリニック  
 寺田 健先生

です。  
 宜しくお願いします。

**「噛み噛み」促進で、脳の発達と虫歯予防に努めよう！**

6月4日は「虫歯予防デー」です。園では、食育活動の一環で、虫歯予防デーにちなんで、6月は、「噛み噛み月間」として給食やおやつの際に、噛みごたえのある食材を用いて、子ども達の咀嚼を促していきたいと思っております。  
 最近の子ども達は、咀嚼がなかなか出来ず、口から出してしまったり、いつまでも口の中に残っている子が増えています。噛むことで、唾液が分泌され虫歯予防につながるのと同時に、あごの発達、脳への刺激で、脳細胞も活性化されます。噛む力を育てていきたいですね。

**夏の感染症に気をつけよう！**

体力消耗の激しい夏は、色々な感染症が流行ります。集団生活をしている保育園では、あっという間に罹ってしまう事も！コロナの緊急事態宣言下でもあります。体調が悪い時は、出来るだけ家で安静にして過ごしましょう。